

共焦点レーザー顕微鏡の要望及びこれまでの経緯

- 2020年 10月 共同研運営委員会にて、設備機器更新計画について協議
・共焦点レーザー顕微鏡 LSM780 の更新を最優先とすることが決まった。
- 2021年 6月 現有装置 LSM780 の利用者(2018 年度以降)を対象としたアンケートを実施
- 第1希望 カールツァイス(回答者の全員が第1希望)
- 第2希望 オリンパス
- 第3希望 ライカ
- 7月 希望メーカー3社によるプレゼンを実施
- 第1希望 カールツァイス(出席者の全員が第1希望)[※]
- 第2希望 オリンパス[※]
- 第3希望 ライカ
- ※ カールツァイスとオリンパスの希望順位については、
実際に装置を触ってから最終的な判断をしたいという意見もあった。
- 8月～9月 カールツァイスとオリンパスについて、実機デモを実施(ライカは辞退)
- 9月 微細形態エリアのユーザーミーティングにて希望順位と仕様の確認
・順位の変更は無し。超解像撮影用スキャナー付きの仕様を希望することになった。
- 10月 共同研運営委員会にて設備機器更新計画について協議
・カールツァイスとオリンパスの金額差が大き過ぎること、
デモの結果を踏まえた協議ができていないことなどを理由に、
再度ユーザーに意見を伺うよう運営委員長より指示があった。
- 11月 微細形態エリアの臨時ユーザーミーティングを開催
・希望順位と仕様について再確認したが、変更なし。

2022年4月 高額機器等調査の依頼書を財務企画課に提出

(5月) (文科省より補助金申請の募集に関する通知)

6月 高額機器等調査結果の報告(常務会)

主に以下の理由で、補助金の申請が承認されなかった。

- ・ 現有装置 LSM780 は、更新計画策定時点(2020年度)で約3,000万円、現時点(2022年度)でも約1,800万円の簿価が残っており、更新は認められない。
- ・ 補助金の内定は10月以降であるが、その後の発注では年度内に納品ができない。(ツァイスによると、9月までに発注がなければ年度内の納品は不可であるとのこと。)

6月 今後の方針を検討するため微細形態エリアの臨時利用者を開催

- 機種は変更せず、来年度以降にツァイスの装置を第1希望で申請する。
- これまで更新を前提として計画を進めてきたが、来年度は増設に変更する。

9月 LSM780 ユーザーを対象として、装置の利用状況に関するアンケートを実施